



平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 木曽路

上場取引所 東 名

コード番号 8160 URL <http://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松原 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 服部 昭仁

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,370	0.5	262	10.4	325	7.8	6	
25年3月期第3四半期	33,220	2.7	293	3.9	353	1.7	25	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.25	
25年3月期第3四半期	1.00	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	38,968	29,404	75.5
25年3月期	39,467	29,702	75.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 29,404百万円 25年3月期 29,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		7.00		7.00	14.00
26年3月期		7.00			
26年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	0.9	1,500	0.3	1,570	4.1	720	2.6	27.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	25,913,889 株	25年3月期	25,913,889 株
期末自己株式数	26年3月期3Q	75,338 株	25年3月期	74,224 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	25,839,239 株	25年3月期3Q	25,840,279 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第3四半期累計期間)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期	33,370	262	325	6	0.25
平成25年3月期	33,220	293	353	25	1.00
増減率(%)	0.5	10.4	7.8	-	-

当第3四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和による円安、株価の上昇など景気回復の兆しがみられるものの、先行する物価の上昇や消費税率引上げによる景気減退懸念等、実体的な経済への波及は限定的であり先行きは依然不透明な状況で推移しました。

個人消費に関しましては、株価上昇による資産効果等から高額商品の好調な消費や消費税率引上げ前の駆け込み需要が増加する一方で、所得・雇用環境の改善が足踏みし本格的な回復には至らず、慎重な消費行動で推移しました。

外食業界におきましては、消費マインドの改善から一部に回復の兆しがみられるものの、円安による原材料価格の上昇や光熱費の値上がりなど先行きは不透明感が残り、経営環境は依然厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中で当社は、5店舗の新規出店、1店舗の改築、1店舗の改装、1店舗の業態転換(素材屋からウノ)及び5店舗の退店を実施し、その結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は172店舗となりました。

営業面では、旬のメニューやお客ニーズに合わせたメニューの提供など料理・サービスの充実に努め、また、季節毎のイベントを中心に販売促進活動を実施しました。また、業績不振店の退店を実施する一方で、新業態の積極的な出店により、売上高は前年同期に比べ微増となりました。

費用面では、ポイント制度変更に伴う販売促進費が減少した一方で、天候不順による生鮮食料品価格の上昇、光熱費の値上がりや厳しい採用環境のなか募集費等の増加を余儀なくされました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は333億70百万円(前年同期比0.5%増加)、営業利益は2億62百万円(同10.4%減少)、経常利益は3億25百万円(同7.8%減少)、四半期純利益は6百万円(前年同期実績25百万円の損失)となりました。

(部門別の概況)

部門別売上高

	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 増減率(%)
木曾路	27,771	0.0
素材屋	2,557	11.4
鈴のれん	1,079	13.9
とりかく	788	1.3
じゃんじゃん亭	701	0.3
その他	471	315.2
計	33,370	0.5

木曾路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」部門は、2店舗の新規出店、1店舗の改築、1店舗の改装及び1店舗の退店により、当第3四半期会計期間末店舗数は119店舗となりました。

営業面では、季節毎のイベントや恒例の「しゃぶしゃぶ祭り」、「とらふぐ祭り」を実施するとともに旬のメニューの充実に努め、また、幅広いお客様のニーズに合わせた新メニューを投入しました。その結果、売上高は277億71百万円(前年同期比0.0%減少)となりました。

素材屋部門

居酒屋の「素材屋」部門は、1店舗の新規出店、5店舗の退店(素材屋からウノへの業態転換1店舗を含む)により、当第3四半期会計期間末店舗数は21店舗となりました。

営業面では、コアメニューの串焼きの拡販、旬メニューや焼酎のお値打ち販売並びに平日限定フェアの実施により来店客数の増加に努めましたが、既存店の売上高は前年同期を下回りました。また、前年同期末と比べ5店舗の退店が響き、売上高は25億57百万円(同11.4%減少)となりました。

鈴のれん部門

和食レストランの「鈴のれん」部門は、店舗の異動はなく、当第3四半期会計期間末店舗数は9店舗であります。

営業面では、メニュー改定や季節メニューを充実するとともに、接客サービス、販売促進活動などの見直しを行い営業体制の強化に努めました。その結果、売上高は10億79百万円(同13.9%増加)となりました。

とりかく部門

鶏料理の「とりかく」部門は、店舗の異動はなく、当第3四半期会計期間末店舗数は10店舗であります。

営業面では、宴会メニューの充実やこだわりの旬の一品提供などを行った結果、既存店の売上高は前年同期を上回りましたが、前年同期末に比べ1店舗の退店が響き、売上高は7億88百万円(同1.3%減少)となりました。

じゃんじゃん亭部門

焼肉の「じゃんじゃん亭」部門は、店舗の異動はなく、当第3四半期会計期間末店舗数は8店舗であります。

営業面では、学生のイベント等に合わせ予約獲得活動を強化し、また、食べ放題メニューの拡大による客数の増加に努めました。前年同期末と比べ1店舗減少したものの、既存店の売上高が前年同期を上回った結果、売上高は7億1百万円(同0.3%増加)となりました。

その他部門

その他部門は、ワイン食堂「ウノ」、外販(しぐれ煮、胡麻だれ類)、不動産賃貸等であります。このうち、ワイン食堂「ウノ」は3店舗を新規出店し、当第3四半期会計期間末店舗数は5店舗となりました。

その他部門の売上高は4億71百万円(同315.2%増加)であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度末	当第3四半期 会計期間末	増 減
総資産(百万円)	39,467	38,968	499
純資産(百万円)	29,702	29,404	297
自己資本比率(%)	75.3	75.5	-
1株当たり純資産(円)	1,149.49	1,138.02	11.47

当第3四半期会計期間末の総資産は、389億68百万円で、前事業年度末比4億99百万円の減少となりました。主な減少は、設備投資、賞与、配当金、法人税等の支払で預金を取り崩したことによるものであります。負債は、95億64百万円で、前事業年度末比2億1百万円の減少となりました。主に買掛金が増加した一方で、法人税などの未払税金や賞与引当金が減少しました。また、純資産は、294億4百万円で、前事業年度末比2億97百万円の減少となりました。これは、主として、四半期純利益6百万円(増加)、剰余金の配当3億61百万円(減少)、その他有価証券評価差額金59百万円(増加)によるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は75.5%、1株当たり純資産は1,138円02銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月23日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,066	11,876
売掛金	1,018	1,283
商品及び製品	24	59
原材料及び貯蔵品	454	787
その他	882	970
貸倒引当金	0	1
流動資産合計	15,445	14,977
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,526	8,583
土地	5,637	5,637
その他(純額)	1,652	1,656
有形固定資産合計	15,816	15,878
無形固定資産	269	221
投資その他の資産		
差入保証金	5,251	5,148
その他	2,711	2,762
貸倒引当金	27	18
投資その他の資産合計	7,936	7,892
固定資産合計	24,022	23,991
資産合計	39,467	38,968

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,268	1,931
短期借入金	950	950
未払法人税等	730	-
賞与引当金	494	199
その他の引当金	65	125
その他	2,774	2,988
流動負債合計	6,283	6,195
固定負債		
退職給付引当金	1,479	1,474
資産除去債務	1,358	1,345
その他	644	549
固定負債合計	3,482	3,368
負債合計	9,765	9,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,875	9,875
利益剰余金	9,728	9,373
自己株式	113	115
株主資本合計	29,547	29,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155	214
評価・換算差額等合計	155	214
純資産合計	29,702	29,404
負債純資産合計	39,467	38,968

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	33,220	33,370
売上原価	10,492	10,617
売上総利益	22,727	22,752
販売費及び一般管理費	22,434	22,490
営業利益	293	262
営業外収益		
受取利息	17	13
受取配当金	19	20
協賛金収入	24	15
その他	12	25
営業外収益合計	73	75
営業外費用		
支払利息	6	6
賃貸借契約解約損	-	4
その他	7	1
営業外費用合計	13	11
経常利益	353	325
特別利益		
固定資産売却益	6	-
特別利益合計	6	-
特別損失		
固定資産除却損	68	28
減損損失	93	59
特別損失合計	162	87
税引前四半期純利益	197	238
法人税、住民税及び事業税	90	89
法人税等調整額	132	142
法人税等合計	222	231
四半期純利益又は四半期純損失()	25	6

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。